

3. 参加者について

(1) 参加者の選定方法

ワークショップの参加者の選定にあたっては、ドイツで考案された市民討議の手法で、政策判断に有効とされる「プランニング・セル※」を参考にし、無作為抽出の市民に参加者募集のご案内を送付した上で、参加を受諾した方の中から、以下のとおり選定しました。

- ・参加者募集のご案内送付：無作為抽出の市民 3,000 名
- ・参加定員：最大 100 名程度
- ・参加受諾者：128 名
- ・参加決定者：101 名
- ・当日の参加者：85 名

●参加者募集のご案内の概要

○参加資格（以下の全てを満たす方）

- ・「参加承諾書」をご提出いただいた方
- ・現在札幌市在住の方（転居等で札幌市外へ転出された方は応募できません）
- ・札幌市職員ではない方
- ・事前勉強会に出席できる方
- ・ワークショップは公開で行い、報道機関による撮影や傍聴者が会場に入ること、参加者個人が特定できる形で記録を公開する可能性があることに承諾いただける方

○謝 礼：所得税引後 6,540 円（交通費込み）

○その他

少しでも多くの方に参加いただけるよう、事前勉強会やワークショップ当日は託児室を設けること、車いす使用等でお手伝いが必要な場合は対応可能な旨を付記しました。

また、ワークショップの実施にあたっては、各テーマについて、多角的な視点から意見をいただくため、参加者を以下のグループに分けて、議論を行いました。

	参加者数	グループ数	1グループの人数
午前（公共交通）	44 名	6	7～8 名
午後（ごみ・リサイクル）	41 名	6	6～7 名
計	85 名	12	—

※プランニング・セル：無作為抽出の市民に謝礼を支払って参加していただき、少人数で議論を行う手法で、無作為抽出により選ばれた参加者は、性別、年齢、居住地などの面から市民の縮図となるため、少人数であっても、市民意見を代表する公平な議論が行なわれることが期待され、また、謝礼を支払うことにより、仕事としてワークショップに責任を持って取り組んでいただくことが期待される。

(2) 参加者の属性

ワークショップ当日の参加者の属性については以下のとおりです。グループ編成については、年齢や性別、居住区などの属性ができるだけ異なるようバランスに配慮しました。

【性別・年代別】 (単位:名)

対象テーマ	年代						総計
	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	
公共交通	2	7	8	11	11	5	44
男性	0	2	4	7	8	2	23
女性	2	5	4	4	3	3	21
ごみ・リサイクル	1	9	2	6	9	14	41
男性	1	3	0	1	5	6	16
女性	0	6	2	5	4	8	25
総計	3	16	10	17	20	19	85
男性	1	5	4	8	13	8	39
女性	2	11	6	9	7	11	46

【居住区別】 (単位:名)

対象テーマ	居住区										総計
	中央区	北区	東区	白石区	厚別区	豊平区	清田区	南区	西区	手稲区	
公共交通	1	13	3	5	6	5	1	6	2	2	44
ごみ・リサイクル	6	6	5	3	3	4	1	4	3	6	41
総計	7	19	8	8	9	9	2	10	5	8	85



ワークショップの様子（公共交通）



ワークショップの様子（ごみ・リサイクル）

4. ワークショップ開催までの流れ

平成 25年 7月	中旬	参加者募集のご案内を発送
8月	上旬	参加申込返送締め切り
	中旬	参加受諾者への参加決定通知発送
	下旬	行政評価委員会による事業担当部局へのヒアリング
	下旬	
9月	上旬	参加者への事前送付資料発送
	中旬	<p>対象テーマ事前勉強会 9/12（木）</p> <p>◆午後の部 13：30～15：30</p> <p>◆夜間の部 19：00～21：00</p>
	下旬	<p>「市民参加ワークショップ」 9/29（日）</p> <p>◆9：00～12：00</p> <p>テーマ①：「人口減少社会の到来、少子高齢化の進展等を見据えた、市民の足としての公共交通のあり方について」</p> <p>◆13：30～16：30</p> <p>テーマ②：「ごみの一生とリサイクルの推進について」</p>
	下旬	

5. 対象テーマ事前勉強会の概要

市民参加の実施にあたり、議論に必要な情報をあらかじめ得ていただき、当日の議論の時間を十分に確保するため、対象テーマ事前勉強会をワークショップの実施前に開催しました。

勉強会では、行政評価の取組や、市民参加の取組の位置づけなどについて説明した後、各テーマについて札幌市の担当部局から関連する施策や札幌市の取組について説明し、質疑応答を行いました。

また、勉強会は、時間帯を変えて2回開催し、参加者の都合がつく回に出席いただきました。当該勉強会で使用する資料については、事前に目を通していただくため、開催前に郵送しました。

開催日時：平成25年9月12日（木）

午後の部 13:30～15:30／夜間の部 19:00～21:00

開催場所：札幌エルプラザ（札幌市北区北8条西3丁目）4階 大研修室B・C

参加人数：午後の部 45名（公共交通24名、ごみ・リサイクル21名）

夜間の部 34名（公共交通21名、ごみ・リサイクル13名）

※急用などで当日ご参加いただけなかった方には、別日程で実施しました。

開始時間	項目と内容
13:30～ (19:00～)	<ul style="list-style-type: none"> ■札幌市あいさつ ■事務局等紹介
13:40～ (19:10～)	<ul style="list-style-type: none"> ■ワークショップの主旨を再確認しよう ・行政評価とワークショップの位置づけ
13:45～ (19:15～)	<ul style="list-style-type: none"> ■ワークショップの進め方 ・『ワークショップ』とは、こんな話し合いの方法 ・今回の『ワークショップ』の進め方
13:50～ (19:20～)	休憩
14:00～ (19:30～)	<ul style="list-style-type: none"> ■ワークショップで対象とするテーマの説明 ・テーマ選定の理由説明 ・テーマに関連したこれまでの札幌市の主な取組・施策 ・質問タイム
15:25～ (20:55～)	<ul style="list-style-type: none"> ■ワークショップの参加にあたってのお願い ■閉会あいさつ
15:30 (21:00)	終了



対象テーマ事前勉強会の様子（午後の部）



対象テーマ事前勉強会の様子（夜間の部）

※かっこ内は夜間の部の時間

Ⅱ. 市民参加ワークショップの結果

開催日時：平成 25 年 9 月 29 日（日）

9:00～12:00

テーマ①「人口減少社会の到来、少子高齢化の進展等を見据えた、市民の足としての公共交通のあり方について」

13:30～16:30

テーマ②「ごみの一生とリサイクルの推進について」

開催場所：WEST19（札幌市中央区大通西 19 丁目） 5 階 講堂

参加人数：テーマ① 44 名／テーマ② 41 名

1. プログラム

午前の参加者は「人口減少社会の到来、少子高齢化の進展等を見据えた、市民の足としての公共交通のあり方について」というテーマについて、午後の参加者は「ごみの一生とリサイクルの推進について」というテーマについてワークショップを行いました。

テーマ①、テーマ②とも 6 グループに分かれて議論しました。

開始時間	項目と内容
9:00～(13:30～)	■札幌市開会案内 ■行政評価委員会委員紹介 ■行政評価委員長あいさつ
9:05～(13:35～)	■ワークショップの進め方の説明
9:10～(13:40～)	■各グループでのワークショップ 前半の議論（課題の抽出）
10:05～(14:35～)	休憩
10:15～(14:45～)	■中間発表
10:35～(15:05～)	■各グループでのワークショップ 後半の議論（提案の検討）
11:40～(16:10～)	■各グループの成果発表とまとめ
11:55～(16:25～)	■終了あいさつとアンケート記入のお願い
12:00(16:30)	終了

※かっこ内は午後の部の時間



行政評価委員会吉見委員長（北海道大学大学院経済学研究科教授）あいさつ

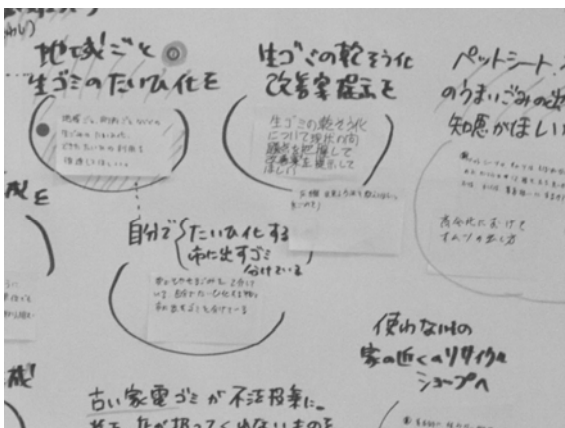
2. ワークショップの進め方

ワークショップは以下のように進めました。また、議論の途中で市の施策や事業について疑問点が出て来た場合は、ヘルプ旗をあげて担当部局の職員から説明を受けました。

ワークショップは、「みんなが発言できるように、一人の発言が長くなりすぎないようにお互い配慮する」「他の人の意見にしっかり耳を傾け、自分と意見が違って否定しない」などのルールに従って行われました。また、各グループに配置されたテーブルファシリテーター※は、議論が本題に沿って進められ、みんなが発言しやすいように、また参加者の発言をきちんと書き留め、議論が後戻りしないように配慮して進行しました。

●前半の議論（課題の抽出）

テーマに関連して、日常の市民生活の中で課題だと思われることについて、お一人3枚程度、付箋紙に記入していただき発表し合いました。テーブルファシリテーターが模造紙の上で意見をまとめ、さらにグループ内で意見を出し合いました。



付箋紙に書かれた意見は、似た内容の意見ごとによまとめ、くくりの言葉をつけていきます。



他の人の意見を聞きながら新たな気づきが生まれます。追加の意見はファシリテーターが書き留めます。



グループごとに置かれたヘルプ旗



疑問点にはその場で回答を受け、議論の助けとなるようにします。

※テーブルファシリテーター：ワークショップのグループ議論の進行役。

●中間発表

前半の議論の内容をグループごとに発表しました。



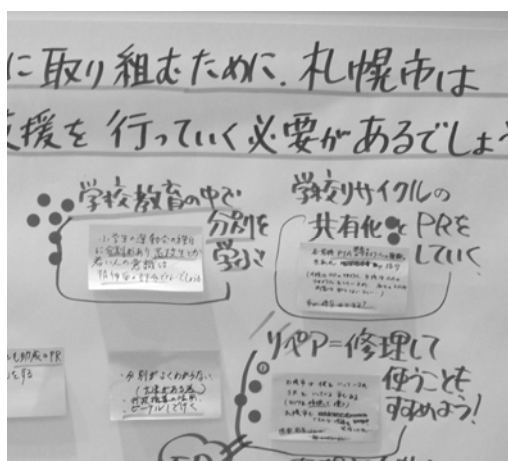
市民目線からの現在の「課題」について、グループごとの議論の内容を全体で共有しました。

●後半の議論（提案の検討）

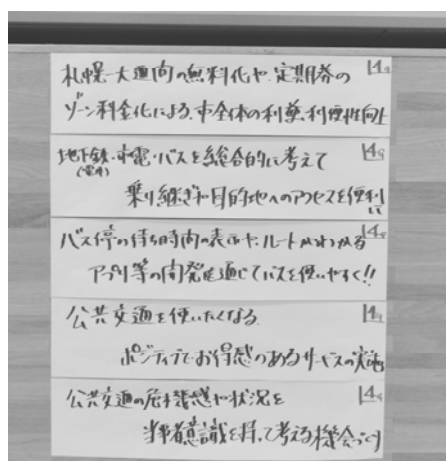
今後、札幌市の取組をより効果的に進めるための提案について議論を行いました。

意見集約は、前半のワークショップと同様に、参加した市民一人ひとりが、意見を付箋紙に書き出すところから始めました。その後、グループ内において、出された意見やくくりの言葉のうち、特に重要だと思う取組について、投票を行いました。（投票は、1人につき3票とし、3枚のシールを書き出された意見に貼り付ける方法で実施しました。なお、シール3枚のうち1枚は一押しシールとし、投票者が一番重要だと思う意見に貼り付けました。）

最終的には、シール投票の結果も参考にしながら、各グループで五つ程度の提案をまとめ、短冊（横長の紙）に書き留めました。



今後重要だと思う取組について、各自シール投票



各グループでまとめられた提案

●全体での共有、確認

各グループでまとめられた五つ程度の提案を発表し、全員で確認しました。



各グループの提案のまとめの内容発表